

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

2025(令和7)年度決算報告書(案)

2025(令和7)年4月1日から2026(令和8)年3月31日まで

一般社団法人 日本船舶電装協会

収支計算書（資金収支）

2025(令和7)年4月1日から2026(令和8)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[3,103,000]	[3,928,601]	[△ 825,601]	
基本財産利息収入	3,103,000	3,928,601	△ 825,601	
特定資産運用収入	[66,000]	[165,254]	[△ 99,254]	
特定資産利息収入	66,000	165,254	△ 99,254	
会費入会金収入	[54,670,000]	[54,504,800]	[165,200]	
正会員会費収入	50,320,000	49,679,800	640,200	
賛助会員会費収入	3,250,000	3,225,000	25,000	
入会金収入	1,100,000	1,600,000	△ 500,000	
補助金等収入	[88,810,000]	[87,519,239]	[1,290,761]	
日本財団助成金収入	88,810,000	87,519,239	1,290,761	
負担金収入	[12,621,000]	[8,247,900]	[4,373,100]	
一般事業負担金収入	1,753,000	313,000	1,440,000	
助成事業負担金収入	7,848,000	5,928,300	1,919,700	
その他負担金収入	3,020,000	2,006,600	1,013,400	
雑収入	[1,419,000]	[1,592,099]	[△ 173,099]	
受取利息	5,000	159,499	△ 154,499	
雑収入	1,414,000	1,432,600	△ 18,600	
事業活動収入計	160,689,000	155,957,893	4,731,107	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[144,349,000]	[116,144,205]	[28,204,795]	
一般事業費支出	18,677,000	5,152,162	13,524,838	
(活性化対策)	(4,002,000)	(595,630)	(3,406,370)	
(調査指導事業)	(8,802,000)	(1,258,029)	(7,543,971)	
(刊行費)	(5,873,000)	(3,298,503)	(2,574,497)	
日本財団助成事業費支出	24,300,000	22,686,548	1,613,452	
(技術指導等)	(13,000,000)	(11,829,031)	(1,170,969)	
(電池推進船)	(11,300,000)	(10,857,517)	(442,483)	
その他事業費支出	101,372,000	88,305,495	13,066,505	
(役員報酬支出)	(21,915,000)	(21,873,690)	(41,310)	
(給料手当支出)	(51,182,000)	(43,727,521)	(7,454,479)	
(退職給付支出)	(10,000)	(—)	(10,000)	
(福利厚生費支出)	(12,030,000)	(10,872,389)	(1,157,611)	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
(物件費支出)	(1,030,000)	(667,803)	(362,197)	
(支払報酬支出)	(906,000)	(705,377)	(200,623)	
(事務費支出)	(3,882,000)	(2,611,348)	(1,270,652)	
(賃借料支出)	(9,190,000)	(7,684,597)	(1,505,403)	
(支払手数料支出)	(1,227,000)	(162,770)	(1,064,230)	
管理費支出	[35,184,000]	[30,264,852]	[4,919,148]	
役員報酬支出	2,436,000	2,430,410	5,590	
給料手当支出	12,980,000	12,958,679	21,321	
退職給付支出	10,000	—	10,000	
福利厚生費支出	3,030,000	2,952,506	77,494	
会議費支出	6,870,000	5,476,030	1,393,970	
旅費交通費支出	1,649,000	730,963	918,037	
物件費支出	206,000	133,562	72,438	
支払報酬支出	183,000	141,073	41,927	
事務費支出	777,000	522,268	254,732	
広告宣伝費支出	250,000	123,200	126,800	
賃借料支出	1,838,000	1,536,916	301,084	
支払手数料支出	246,000	32,551	213,449	
渉外費支出	1,200,000	403,552	796,448	
諸会費支出	1,480,000	1,365,500	114,500	
租税公課支出	1,517,000	1,328,736	188,264	
雑支出	512,000	128,906	383,094	
事業活動支出計	179,533,000	146,409,057	33,123,943	
事業活動収支差額	△ 18,844,000	9,548,836	△ 28,392,836	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	[50,000]	[50,000]	[0]	
定期預金取崩収入	50,000	50,000	0	
特定資産取崩収入	[11,320,000]	[608,388]	[10,711,612]	
退職給付引当資産取崩収入	20,000	—	20,000	
事業活動準備引当資産取崩収入	10,500,000	—	10,500,000	
設備購入引当資産取崩収入	800,000	608,388	191,612	
投資活動収入計	11,370,000	658,388	10,711,612	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	[6,000,000]	[5,992,087]	[7,913]	
退職給付引当資産取得支出	4,000,000	3,992,087	7,913	
設備購入引当資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
固定資産取得支出	[800,000]	[608,388]	[191,612]	
工具器具備品取得支出	800,000	608,388	191,612	
投資活動支出計	6,800,000	6,600,475	199,525	
投資活動収支差額	4,570,000	△ 5,942,087	10,512,087	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	—	—	—	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	—	—	—	
財務活動収支差額	—	—	—	
Ⅳ 予備費支出	[367,000]	[—]	[367,000]	
当期収支差額	△ 14,641,000	3,606,749	△ 18,247,749	
前期繰越収支差額	14,641,000	15,301,474	△ 660,474	
次期繰越収支差額	0	18,908,223	△ 18,908,223	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、仮払金、未払金、前受金、預り金、賞与引当金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

なお、前年度末及び当年度末残高は、下記2. に記載する通りである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前年度末残高	当年度末残高
現金預金	23,257,813	27,482,285
未収金	6,600	26,400
前払金	546,760	559,960
仮払金	25,660	—
合 計 (A)	23,836,833	28,068,645
未払金	414,265	1,675,966
前受金	147,600	—
預り金	603,256	537,713
賞与引当金	6,817,438	6,442,843
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	482,800	433,900
合 計 (B)	8,535,359	9,160,422
次期繰越収支差額(A)-(B)	15,301,474	18,908,223

3. 科目間の流用及び予備費の使用等について

(1) 科目間の流用

なし。

(2) 予備費の使用

なし。

貸 借 対 照 表

2026(令和8)年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,482,285	23,257,813	4,224,472
未収金	26,400	6,600	19,800
前払金	559,960	546,760	13,200
仮払金	—	25,660	△ 25,660
流動資産合計	28,068,645	23,836,833	4,231,812
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	8,751,400	7,582,400	1,169,000
投資有価証券	444,929,104	445,387,793	△ 458,689
基本財産合計	453,680,504	452,970,193	710,311
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	35,076,024	31,083,937	3,992,087
事業活動準備引当資産	25,430,000	25,430,000	0
設備購入引当資産	9,530,935	8,139,323	1,391,612
特定資産合計	70,036,959	64,653,260	5,383,699
(3) その他の固定資産			
工具・器具及び備品	1,770,045	2,057,253	△ 287,208
ソフトウェア	1,109,964	1,634,883	△ 524,919
電話加入権	235,894	235,894	0
敷金	1,367,118	1,367,118	0
その他の固定資産合計	4,483,021	5,295,148	△ 812,127
固定資産合計	528,200,484	522,918,601	5,281,883
資産合計	556,269,129	546,755,434	9,513,695
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,675,966	414,265	1,261,701
前受金	—	147,600	△ 147,600
預り金	537,713	603,256	△ 65,543
賞与引当金	6,442,843	6,817,438	△ 374,595
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	433,900	482,800	△ 48,900
流動負債合計	9,160,422	8,535,359	625,063

科 目	当年度	前年度	増減
2. 固定負債			
退職給付引当金	35,076,024	31,083,937	3,992,087
固定負債合計	35,076,024	31,083,937	3,992,087
負債合計	44,236,446	39,619,296	4,617,150
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
日本財団助成金基金	453,680,504	452,970,193	710,311
指定正味財産合計	453,680,504	452,970,193	710,311
(うち基本財産への充当額)	(453,680,504)	(452,970,193)	(710,311)
(うち特定資産への充当額)	()	()	()
2. 一般正味財産			
一般正味財産	58,352,179	54,165,945	4,186,234
(うち基本財産への充当額)	()	()	()
(うち特定資産への充当額)	(34,960,935)	(33,569,323)	(1,391,612)
正味財産合計	512,032,683	507,136,138	4,896,545
負債及び正味財産合計	556,269,129	546,755,434	9,513,695

正味財産増減計算書

2025(令和7)年4月1日から2026(令和8)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[3,978,601]	[4,262,612]	[△ 284,011]
基本財産受取利息	3,978,601	4,262,612	△ 284,011
特定資産運用益	[165,254]	[12,135]	[153,119]
特定資産受取利息	165,254	12,135	153,119
受取会費入会金	[54,504,800]	[54,334,100]	[170,700]
正会員受取会費	49,679,800	49,259,100	420,700
賛助会員受取会費	3,225,000	3,325,000	△ 100,000
受取入会金	1,600,000	1,750,000	△ 150,000
受取補助金等	[87,519,239]	[79,202,000]	[8,317,239]
日本財団受取助成金	87,519,239	79,202,000	8,317,239
受取負担金	[8,247,900]	[9,352,078]	[△ 1,104,178]
一般事業受取負担金	313,000	274,000	39,000
助成事業受取負担金	5,928,300	6,337,100	△ 408,800
その他受取負担金	2,006,600	2,740,978	△ 734,378
雑収益	[1,592,099]	[1,491,882]	[100,217]
受取利息	159,499	38,682	120,817
雑収益	1,432,600	1,453,200	△ 20,600
経常収益計	156,007,893	148,654,807	7,353,086
(2) 経常費用			
事業費	[119,443,957]	[116,278,743]	[3,165,214]
一般事業費	5,152,162	6,041,918	△ 889,756
(活性化対策)	(595,630)	(1,156,865)	(△ 561,235)
(調査指導事業)	(1,258,029)	(1,550,887)	(△ 292,858)
(刊行費)	(3,298,503)	(3,334,166)	(△ 35,663)
日本財団助成事業費	22,686,548	18,065,204	4,621,344
(技術指導等)	(11,829,031)	(12,433,859)	(△ 604,828)
(電池推進船)	(10,857,517)	(5,631,345)	(5,226,172)
その他事業費	91,605,247	92,171,621	△ 566,374
(役員報酬)	(21,873,690)	(21,865,464)	(8,226)
(給料手当)	(43,727,521)	(43,523,490)	(204,031)
(退職給付費用)	(3,299,752)	(4,268,538)	(△ 968,786)

科 目	当年度	前年度	増減
(福利厚生費)	(10,872,389)	(10,783,518)	(88,871)
(物件費)	(667,803)	(764,202)	(△ 96,399)
(支払報酬)	(705,377)	(704,918)	(459)
(事務費)	(2,611,348)	(2,459,659)	(151,689)
(賃借料)	(7,684,597)	(7,625,269)	(59,328)
(支払手数料)	(162,770)	(176,563)	(△ 13,793)
管理費	[32,351,714]	[35,474,032]	[△ 3,122,318]
役員報酬	2,430,410	2,429,496	914
給料手当	12,958,679	12,909,135	49,544
退職給付費用	692,335	2,321,504	△ 1,629,169
福利厚生費	2,952,506	2,967,451	△ 14,945
会議費	5,476,030	6,663,896	△ 1,187,866
旅費交通費	730,963	841,695	△ 110,732
減価償却費	1,394,527	1,521,347	△ 126,820
物件費	133,562	152,839	△ 19,277
支払報酬	141,073	140,982	91
事務費	522,268	491,929	30,339
広告宣伝費	123,200	123,200	0
賃借料	1,536,916	1,525,053	11,863
支払手数料	32,551	35,314	△ 2,763
渉外費	403,552	442,531	△ 38,979
諸会費	1,365,500	1,549,500	△ 184,000
租税公課	1,328,736	1,282,784	45,952
雑費	128,906	75,376	53,530
経常費用計	151,795,671	151,752,775	42,896
評価損益等調整前当期経常増減額	4,212,222	△ 3,097,968	7,310,190
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	4,212,222	△ 3,097,968	7,310,190
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[25,988]	[27,582]	[△ 1,594]
経常外費用計	25,988	27,582	△ 1,594
当期経常外増減額	△ 25,988	△ 27,582	1,594
当期一般正味財産増減額	4,186,234	△ 3,125,550	7,311,784
一般正味財産期首残高	54,165,945	57,291,495	△ 3,125,550
一般正味財産期末残高	58,352,179	54,165,945	4,186,234

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[760,311]	[659,660]	[100,651]
基本財産受取利息	760,311	659,660	100,651
一般正味財産への振替額	[△ 50,000]	[-]	[△ 50,000]
当期指定正味財産増減額	710,311	659,660	50,651
指定正味財産期首残高	452,970,193	452,310,533	659,660
指定正味財産期末残高	453,680,504	452,970,193	710,311
Ⅲ 正味財産期末残高	512,032,683	507,136,138	4,896,545

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

(a) 満期保有目的の債券

債券金額と異なる価額で取得した債券で、差額が金利の調整と認められるものは償却原価法によっている。

(b) その他の有価証券

期末における市場価格等に基づく時価によっている。

時価のないものについては取得価額によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

(a) 工具・器具及び備品

定額法による減価償却を行っている。

(b) ソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づき償却している。

(3) 引当金の計上について

(a) 退職給付引当金

役職員の退職手当支給に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

(b) 賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

(6) 資産除去債務について

当法人は、本事務所オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本事務所を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	7,582,400	1,219,000	50,000	8,751,400
投資有価証券	445,387,793	99,541,311	100,000,000	444,929,104
小 計	452,970,193	100,760,311	100,050,000	453,680,504
特定資産				
退職給付引当資産	31,083,937	3,992,087	—	35,076,024
事業活動準備引当資産	25,430,000	—	—	25,430,000
設備購入引当資産	8,139,323	2,000,000	608,388	9,530,935
小 計	64,653,260	5,992,087	608,388	70,036,959
合 計	517,623,453	106,752,398	100,658,388	523,717,463

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	8,751,400	(8,751,400)	(—)	(—)
投資有価証券	444,929,104	(444,929,104)	(—)	(—)
小 計	453,680,504	(453,680,504)	(—)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	35,076,024	(—)	(—)	(35,076,024)
事業活動準備引当資産	25,430,000	(—)	(25,430,000)	(—)
設備購入引当資産	9,530,935	(—)	(9,530,935)	(—)
小 計	70,036,959	(—)	(34,960,935)	(35,076,024)
合 計	523,717,463	(453,680,504)	(34,960,935)	(35,076,024)

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具及び備品	4,776,014	3,005,969	1,770,045
ソフトウェア	3,303,795	2,193,831	1,109,964
合 計	8,079,809	5,199,800	2,880,009

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券は発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに対する管理体制

(a) 資産管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当会の資産管理規程により行っている。

(b) 信用リスク及び市場リスクの管理

債券の時価情報等について定期的に把握し、理事会に報告している。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券（基本財産）			
利付国庫債券(30年) 第10回	78,675,663	75,252,000	△ 3,423,663
兵庫県公債 12年第4回	100,000,000	99,910,000	△ 90,000
愛媛県 令和4年度第3号公債	69,753,125	62,664,000	△ 7,089,125
東北電力債 第536回	97,618,665	89,720,000	△ 7,898,665
東京電力パワーグリッド債 第75回	98,881,651	91,440,000	△ 7,441,651
合 計	444,929,104	418,986,000	△ 25,943,104

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金	公益財団法人					
日本財団助成金	日本財団	—	87,519,239	87,519,239	—	一般正味財産
合 計		—	87,519,239	87,519,239	—	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益	50,000

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13. 重要な後発事象

該当なし。

14. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 35,076,024
② 会計基準変更時差異の未処理額	—
③ 退職給付引当金 (①+②)	△ 35,076,024

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	5,048,087
② 会計基準変更時差異の費用処理	—
③ 退職給付費用 (①+②)	5,048,087

(4) 退職給付債務等の計算に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」を参照。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,817,438	6,442,843	6,817,438	—	6,442,843
退職給付引当金	31,083,937	3,992,087	—	—	35,076,024

科 目	金 額		
ソフトウェア		1,109,964	
電話加入権		235,894	
敷金 (株)東京ビー・エム・シー		1,367,118	
その他の固定資産合計		4,483,021	
固定資産合計			528,200,484
資産合計			556,269,129
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		1,675,966	
助成金精算払い・社会保険料・コピーカウンター料・ プロバイダー接続料			
預り金 源泉所得税・住民税		537,713	
賞与引当金		6,442,843	
未払法人税等 法人都民税均等割額		70,000	
未払消費税等 消費税・地方消費税		433,900	
流動負債合計			9,160,422
2. 固定負債			
退職給付引当金		35,076,024	
固定負債合計			35,076,024
負債合計			44,236,446
正味財産			512,032,683

定款第44条第1項の規定により、2025(令和7)年度決算関係書類を上記の通り提出します。

2026(令和8)年5月1日

一般社団法人 日本船舶電装協会

会 長 山 田 信 一 郎 ㊟

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本船舶電装協会
会 長 山田 信一郎 殿

私ども監事は、一般社団法人日本船舶電装協会の2025(令和7)年4月1日から2026(令和8)年3月31日までの業務について監査を実施いたしました。その結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の概要

監事は、理事会に出席するほか、協会事務局から事業の執行状況について聴取し、業務について監査を実施いたしました。

また、当該事業年度に係わる事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)並びに貸借対照表及び損益計算書の附属明細書について監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 協会の業務について、法令、定款及び規則に従い適正に運用されているものと認める。
- (2) 事業報告及び附属明細書は、法令、定款及び規則に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 会計監査の結果
貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び附属明細書は、協会の財産及び収支の状況を正しく示しているものと認める。

2026(令和8)年5月11日

監 事 田 岡 一 樹 ㊞

監 事 高 橋 秀 雄 ㊞

〈本決算報告書は競艇公益資金による公益財団法人日本財団の助成金を受けて作成した〉